

梁端ウェブ補剛工法

梁端ウェブ補剛工法はハイパービーム[®]を用いた梁端ウェブをスチフナで補剛することで、優れた変形能力を発揮する工法です。

本工法を適用した梁は、部材種別を「FA」または「FB」として設計できます。(BCJ評定-ST0211-04)



特長

- 優れた変形性能**
ハイパービーム[®]の梁端ウェブをスチフナ補剛する事で（格子スチフナ形式または水平スチフナ形式）、部材種別FAあるいはFB相当の塑性変形能力を発揮します。
- 鋼重削減**
ウェブ薄肉化による鋼重削減が期待できます。
- 設計が容易**
「標準仕様書」及び「設計チェックリスト」を準備しておりますので、設計・確認申請手続きもスムーズに行えます。
- 軽微な補剛**
スチフナ（6mm×75mmまたは6mm×100mm）補剛領域は、柱面より1H（H：梁せい）の領域を基本とします。



格子スチフナ形式



水平スチフナ形式

適用できる構造種別

- ・鉄骨造
- ・コンクリート
充填鋼管構造
- ・柱SRC梁S造
- ・柱RC梁S造
- ・上記の併用構造

本工法に用いるハイパービーム[®]のサイズ

[SN490B,C SM490A,B,C]

ウェブ寸法 (mm)	フランジ寸法 (mm)	上段:B 下段:t																											
		200						250						300						350						400			
H	W	12	16	19	22	25	28	16	19	22	25	28	32	19	22	25	28	32	36	22	25	28	32	36	22	25	28	32	36
500	9	●	●	●	●																								
550	9	□	■	■	■																								
600	9	○	●	●	●																								
650	9	□	■	■	■																								
700	9	○	●	●	●																								
750	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																
800	12																												
850	14																												
900	14																												
950	16																												
1000	16																												

[NSYP345B]

ウェブ寸法 (mm)	フランジ寸法 (mm)	上段:B 下段:t																											
		200						250						300						350						400			
H	W	16	19	22	25	28	16	19	22	25	28	32	19	22	25	28	32	36	22	25	28	32	36	25	28	32	36		
600	9	●	●	●	●																								
650	9	■	■	■	■																								
650	12	■	■	■	■																								
700	9	●	●	●	●																								
700	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●																
750	12																												
750	14																												
800	12																												
800	14																												
850	14																												
850	16																												
900	14																												
900	16																												
950	16																												
1000	16																												
1000	19																												

梁の部材種別をFAとして扱える断面

梁の部材種別をFBとして扱える断面

● : 常時製造サイズ

○ : 常時製造サイズ

■ : 常時製造サイズでは無く受注条件等あり

□ : 常時製造サイズでは無く受注条件等あり

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。